

第2回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

平成 25年 8月 22日 (木)

時間 午後 2時から

場所 弥富市 図書館視聴覚室
(弥富市役所隣 2階)

○議 事

1. 開会

山崎議長	・ただ今から、平成25年度 第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。
------	--

2. 弥富市長挨拶

山崎議長	・最初に、本協議会の会長である服部弥富市長よりご挨拶をいただく。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・連日、猛暑というか、この暑さがいつまで続くのであろうということで、色んな所に弊害が出てきていると思っている。 ・水瓶のダムの方が東三河、西三河を中心に、愛知県でも相当な節水が、起きている状況である。 ・幸いにも、私ども、木曾川を水系としているが、岩屋ダムや牧尾ダムは、今のところ80~100%近いという状況である。これが9月の中旬ぐらいまで続くと、相当厳しくなると言われている。 ・今、農業用水も、これだけ暑い日が続いているので、稲を冷やしていかなければいけない状況もあろうかと思う。そんな中、水が大変必要となる。 ・お米の話が出たので、弥富市の自慢話をひとつお聞きいただきたいと思う。昭和34年の9月に伊勢湾台風があり、もうすぐそこに穫り入れを始めようという時にあの台風が来てしまった。塩田になってしまい、その年は全く収穫ができなかったということで、その後、様々な形で品種改良を続けていただき、早場米というのが出来て、今年も8月13日、お盆前に愛知県では一番最初に新米を出荷するところが、わが町弥富である。ここは、他の地域には譲れない形で、農業従事者の方、あるいはJAの皆様方にも大変なご協力をいただいている。たいへん美味しいお米である。あきたこまちという品種で、もうまもなく店頭にならぶかと思う。ぜひ、ご賞味いただきたいと思う。 ・本日は、前回の協議会でご審議いただいた、年間計画に基づくダイヤの変更、あるいは、モニタリング調査等についてご審議をいただきたいと思う。皆様方の忌憚のないご意見をいただきながら、私どものコミュニティバスの更なる活性化をお願いしたいと思う。
山崎議長	・事務局より、資料の確認をお願いする。
事務局 (横江)	○資料の確認 会議次第(差し替え)

	<p>資料1：ダイヤ変更（案）</p> <p>資料1追加資料：北部ルートダイヤ変更（案）</p> <p>資料2：住民・利用者アンケートについて</p> <p>資料3：無料お試し乗車券について(当日配布)</p> <p>資料4：サイクル&バスライド駐輪場について</p> <p>資料5：平成26年度 生活交通ネットワーク計画 変更案（当日配布）</p> <p>配席表</p>
--	--

3. 議題

(1) ダイヤ変更について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題に入る。 ・ 本日は、議題がその他にも含めて6つある。 ・ 協議会としてご承認いただきたいのが（1）と（2）。あとは事務局からの報告事項である。 ・ 議題（1）「ダイヤの変更について」資料1を使って、事務局より説明をお願いします。
事務局 （横江）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題（1）「ダイヤ変更について」、資料1「ダイヤ変更（案）」と「北部ルートのダイヤ変更（案）」を基に説明する。 ○資料1「ダイヤ変更（案）」説明 ・ ダイヤは、昨年度の検討結果を基に、10月1日から変更を予定している。 ・ 変更の内容としては、北部ルートにおいて、利用者が少ない平日の朝の時間帯の1から3便および夕方の15便を廃止する。 ・ 変更の内容について、表で示しているが、左側の表では、左に現行のダイヤ、右に変更後のダイヤを示しており、変更箇所を赤枠で囲っている。 ・ また、右側の上の表は近鉄弥富駅での急行への乗り継ぎ時間を変更前後で、下の表では近鉄佐古木駅での準急、普通への乗り継ぎ時間を変更前後で示している。 ・ 北部ルートの平日においては、朝夕便の削減のみの変更なので、乗り継ぎ時間の変更前後での変化はない。 ・ 続いて、2 ページ目では、北部ルートの土曜日の変更内容について示している。 ・ 土曜日においても、利用者が少ない夕方の12便を廃止する。 ・ また、11 便においては、終点をポプラ台団地から近鉄弥富駅北口まで延伸し、平日と同じようなダイヤでの運行とする。 ・ なお、3 ページ目に昨年度の報告書で整理した便ごとの平均乗車実績について整理している。 ・ 今回の変更で削減する便を赤枠で囲っており、利用者が非常に少なくなっていることがわかると思う。 ・ 追加配布した「北部ルートのダイヤ変更（案）」をご覧いただきたい。各バス停ごとのダイヤである。今回、資料1では、起点の時間と終点の時間のみ記載しているが、それ以外にバス停間で若干、時間の変更を考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・北部ルートで白鳥コミュニティセンターというバス停があり、今までの時刻で慢性的にバスが遅れる現象があり、時間の調整をさせていただいている。 ・平日を見ていただくと、佐古木駅から又八バス停間の時間を2分間短くさせていただいた。その分を白鳥コミュニティセンターとポプラ台団地で、それぞれ1分ずつ時間をみさせていただき、トータルでは時間の変更はないが、遅れの解消のために調整をさせていただいた。右回りも同様であるが、方向が違うので、こちらについては、ポプラ台団地でプラス1分、西中地公民館前でプラス1分、又八から佐古木駅間でマイナス2分の調整（案）とさせていただいている。 ・続いて、4ページ目では東部ルートについて、整理している。 ・東部ルートにおいては、平日、土曜日ともに、東部ルートから蟹江駅方面、蟹江駅方面から東部ルートへの乗り継ぎを改善するため、飛島公共交通バス蟹江線のダイヤに合わせて変更を予定している。 ・飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ時間について、右側の一番下の表に整理している。 ・この変更により、善太橋西バス停における蟹江駅方面との乗り継ぎ時間が大幅に改善されることがわかると思う。 ・また、1便の近鉄出発開始時間を早めることにより、海南病院への到着時間が、これまでは8:48と、診察開始時間である9:00に間に合うようになる。 ・続いて、5ページ目では、東部ルートの土曜日の変更内容について示している。 ・平日と同様に、飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ時間について、右側の一番下の表に整理しており、善太橋西バス停における蟹江駅方面との乗り継ぎ時間が大幅に改善されることがわかると思う。 ・なお、南部ルートについては、現行のままということなので、変更なしとなっている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明があったように、昨年度の運行結果を踏まえて検討してきた結果、前回の協議会で基本的な改善の方針を示していただいたが、今日こういった形で具体的な改変案が出てきた。 ・何かご意見、ご質問はあるか。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・北部ルートのダイヤ変更というのは、朝7時から弥富近鉄駅を中心に乗降していただくお客さんが多い。そういう利用目的で走ったりしたわけだが、駅へ着くまでの時間が30分程度かかるため、私どものダイヤと利用者の近鉄駅までの時間というのは、意識として変わってしまっているの、こういった形にさせていただくということである。 ・事務局に、削減した便に対して、南部ルートは、今回変更がない。この時間帯に今まで走っていた北部ルートのコミュニティバスを、南部ルートの方へ1便増便という形でもっていけないかということ、ぜひ検討していただきたいと思うが、いかがか。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、願います。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・この話題については、過去にもお話があったかと思うが、まず、現在走っているものが、中型バスが2台、マイクロバスが3台という形で運行させていただいている。 ・北部ルートと東部ルートについては、中型バス等の運行が非常に難しい道があるという中で、いわゆるバリアフリー化していないバスの運行を特例的に許可していただいている。その結果、南部ルートはバリアフリー対応の車両の運行になってしまうということがあるので、現状としては、マイクロバスを、南部ルートに定期的に路線として走らせることについては、できないと考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。 ・なかなか、車両の取り回しも難しいところがある。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方としては理解できるが、同じ時間帯に走っている場所、ルートが違う中において、それだけ大きな規制を受けなくてはならないものかと疑問に感じるところだが、その辺、関係する方のご意見もいただきたい。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸支局の方からも、今、問い合わせさせていただいた結果そうなので、今日いらっしゃるので、できたら…。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、バリアフリーはすごくきちんとやらなくてはいけないという流れがあると思うが、小林さん、何かコメントはあるか。
小林委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・今の北・東部がバリアフリーの適用除外を受けた車両ということである。 ・北・東部のバリアフリーになっていない車で走っているというのは、その車でないとだめだという理由があってそういうことを受けているのか？
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。
小林委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、バリアフリー化していくという方向性はあるのか？というのは、バリアフリー化に対応した車で走っていただきたいというのは、原則であり、その部分については、どの事業者も、運行される場合にあっては、そういう車両を使っていたかかないといけない。ただし、例えばそういった車が通れないという特殊要因等があれば、そういう車でなくてもいいということを個別に確認していただいている中で、北・東部はそういうところだという前提だとすれば、逆に言うと、そこだけは特殊だという話である。 ・基本的には、市長さんのおっしゃるように、車1台余裕が出てくる部分を他のところに増便すればというのは、ごもっともなご意見だと思う。どの車でやるのかというのは、限られた中で運用していくとして、バリアフリー化になっていない車であるということであれば、その部分をそのまま運用して南部ルートもやっていくというのは、一緒にはできない部分である。 ・北・東部の、バリアフリー化にならない理由があるという部分を、もう少し皆さんの方にご承知いただきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・たまたま、車両の手配の中で、できていないとすると、それは別の問題ということになるかと思うので、そういうことも含めて今の対応をご検討いただければいいかなと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の問題であるが、仮に浮いたその経費をそちらに充てるとなると、お金がかかるのは人件費なので、運転手をそちらにまわす。車両は、バリアフリー対応をした車両を、例えば三重交通さんに余った車両があるなら、それを使うという手はあるのではないかなと思う。そこでどれくらいコストがかかってくるか、検討の余地はあるのかなと思う。もし本当に、南部ルート of 朝の増便が必要であれば…。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・今までのこういった見解の中で、南部ルートの利用が非常に多いということは、皆様にもご理解いただいているところだし、なおかつ、要望としても、南部ルートの早朝時間に走らせてほしいという要望があるわけである。 ・そういった中で、北部ルートのダイヤ変更した部分について、私は、南部の方へもう1便、通勤、通学の時間にぜひと思っている。 ・もし、三重交通さんとの協定の中で、そういったことが可能ならば、三重交通さんからのご意見もいただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・三重交通さん、いかがか。
大井委員 (三重交通)	<ul style="list-style-type: none"> ・今、お話が出た予備車というような話だが、実際、1台はあるのはあるが、毎日恒常的に使うとなれば、なかなか難しい。 ・お金のかかる話で、1台新車で購入するというと、莫大な費用がかかってくると思うし、今後検討していかねばならない問題かなと考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか、やはりお金がかかってくる話かなと…。 ・今のようなことも念頭に置いて、今後検討を進めていただければと思う。 ・他にいかがか。
古橋委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・東部ルートのダイヤ変更ということで、隣の飛島公共交通さんの蟹江線にあわせて変更をされたいという説明があった。いいことだと思う。 ・関連しておきたいが、実際のご利用になられる方を、どの程度お見込みなのかということと、乗り継ぎすることによって、お互いの料金の割引きができるようになれば、さらに利用が増えるのではないかなと思う。その2点について、お答えできる範囲で結構なので、いかがか。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・いかがか。事務局お願いします。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、乗り継ぎしているところは2ヶ所ある。飛島の蟹江線の話でいうと、おそらく、片便として1日1桁のぐらゐの利用かと思う。 ・東部ルートの所属しているところだと、蟹江に出たいというご意見はかなりあり、ご覧いただいたように、現段階では、乗り継ぎの便を考慮していないダイヤ編成であったので、使いづらかった面は非常に高いかなと思うので、今回の改正で、多少なりとも利用が増えていただけないかなと思う。 ・利用料金の関係は、飛島さんとの協議のなかで入ってくるわけだが、利

	<p>用料金等は若干制度的に変わってる。例えば、弥富市の場合だと、75歳以上は無料だというような制度がある。そういった割引き制度がないところとの乗り継ぎに関して、どのような費用負担をするか等、今後の検討課題かなと思う。今日この場では、お話できないというのが現状である。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ よろしいか。 ・ 飛島さんの方からは今の件に関してよろしいか。
成田委員 (飛島村)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のご質問の件だが、先ほど課長さんの方から回答いただいた通りである。 ・ 私どもは、現在、非常に料金を安くしている。そういう面で、運用等もあるので、課題として、今後検討とさせていただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料金的な改善があると、乗り継ぎがしやすく、乗り継ぎを促進したりすることにつながっていくので、ぜひ検討していただきたいと思う。 ・ 他にいかがか。
小林委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部ルートのところ、ポプラ台団地の方へ、新たに、今回乗り入れるということによろしいか。 ・ サイクル&バスライドの位置の路線図を見てるが、たぶん、ここは行き止まりで、車は反転していくことになると思うが、そういった部分について、交通保安所等の問題も含めて確認していただいているかという点と、近鉄弥富駅北口は、乗り入れがなくなるという理解でよろしいか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行と変更後をちょっと勘違いしていらっしゃるのかなと思う。 ・ 便としては、弥富駅の南口から、p.2の土曜日のところだが、北部11便、こちらの方が現在、弥富駅の南口からポプラ台団地までで止まっていたものを、そのまま延長して近鉄弥富駅の北口までもっていくという形なので、現実の運行としては、他の便をそのような形をとっているもので、変更はないという形である。ルートのな変更はないということである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでポプラ台団地には入っていて、今回土曜日の最後の便をちょっと延伸したということである。今までは、ポプラ台団地止まりだったのを伸ばした。
小林委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北口は？
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 便によってという形にはなるが、現在も北口はある。現在も走っているルートという形にはなっている。
小林委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部ルートの廃止する便により、近鉄弥富駅北口からというルートがなくなり、乗り入れがなくなるということか。
事務局 (横江)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の平日の北部14便は、今回残る形だが、起点が弥富駅南口で終点が北口ということで、その路線と同じような形になるということである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ よろしいか。 ・ 他によろしいか。 ・ 今、ご提示していただいたルート案、北部ルートの減便と、実態に合わ

	<p>せた、4、5箇所のバス停の調整を行うということ、それから東部ルートに関して、乗り継ぎを考慮したダイヤに変更していくということである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中の各バス停の細かい調整は、事務局と交通事業者、三重交通さんに相談しながら進めていくことになると思う。 ・今日ご提示いただいたダイヤ変更（案）に関して、ご審議いただきたいと思う。ご承認いただける方は、挙手をお願いしたい。いかがか。
委員一同	(全員挙手) 《承認》
山崎議長	・事務局の方で、具体的な案の作成を進めていただきたいと思う。願います。

3. 議題

(2) 平成 26 年度生活交通ネットワーク計画変更案について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題（2）「平成 26 年度生活交通ネットワーク計画変更案について」ということで、先ほどのダイヤ変更に伴って、支局、運輸局に申請している計画を変更していくということである。 ・事務局から資料の説明をお願いします。
事務局 (横江)	<ul style="list-style-type: none"> ・議題（2）「平成 26 年度生活交通ネットワーク計画変更案について」資料 5 を基に説明する。 ○資料 5「平成 26 年度 生活交通ネットワーク計画 変更案について」説明 ・前回の第1回協議会で承認頂いた平成26年度生活交通ネットワーク計画について、今回のダイヤ変更に伴い、ネットワーク計画の変更も必要となっている。 ・変更箇所は、3ページ目の「11.協議会の開催状況と主な議論」となっており、今回の第2回協議会の内容を追加した。 ・また、委員の皆様へ配布はしていないが、計画に添付して提出する時刻表などの関係書類も変更となる。 ・なお、ダイヤ変更により便数が減少するが、補助金額に変更はない。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・支局の方に提出する添付資料の中に書かれてる系統が、先ほどの減便によって変更されるということである。 ・先ほどご議論いただいた内容で、添付資料を作成して提出されていくと思われる。これに関して、何かご意見、ご質問等はあるか。
古田委員 (愛知県バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・p.2の「3. ①系統の概要」の、北部ルートだが、先ほどの話で、「近鉄 弥富駅北口」がルート上入っている。これを見ると、総合福祉センターから総合福祉センターになっているが、この辺はどうなっているのか。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、願います。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・起終点の関係で、福祉センターから福祉センターという形になっているが、内容としては、弥富駅を通っているので、後で系統図を見ていただければわかると思う。一度ご覧いただいた方がわかりやすいかと思う。今、言ったものについては、中に入っているという形の考え方で願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・系統としては、今、何系統あって、それが何系統になるのか。数だけでいいが。今まであった系統が結局なくなることになるのか。
事務局 (横江)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月のネットワーク計画申請時であるが、21系統ということで、ルート毎に変わった運行部分があり、系統図が多い。 ・今回、北部ルートを減便することによって、今、3系統減ると思われる。後、1系統、運行の内容が変わるということで考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・系統に関する添付資料が、今日あるとよかったが、これを作成して支局に提出していくことである。 ・ややこしくて申し訳ないが、バス路線としては、弥富のバスは、北部、東部、南部と3路線だが、運行の仕方によって、どこを起点にして、どこを終点にするかは、系統というのはそれぞれ変わってくる。そのため、21系統もあるという状況である。 ・他によろしいか。 ・先ほどご承認いただいた変更(案)をネットワーク計画の変更として、運輸局に提出していくということである。この件に関して、ご審議いただきたい。 ・ご承認いただける方は、挙手をお願いします。いかがか。
委員一同	(全員挙手) 《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・私も、本番の会議の場になると、気付くことがいろいろあって、申し訳ない。事前の打ち合わせで、お話しできるとよかったが、これだけでなく、本来は、系統図を示していただいて、これがこう変わるという添付資料の方が大事だと思う。 ・系統図がどういうものかというのを、協議会の方々に見ていただくのもいいかなと思う。先ほど、課長から、後日見ていただければという話もあったので、何らかの方法で資料をご提示するよう、ここでお願いしたいと思う。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、資料的に説明がしにくいということで、申し訳ない。次回からまた改めてさせていただくので、よろしくお願いします。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくお願いします。

3. 議題

(3) モニタリング調査について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題(3)「モニタリング調査について」事務局から説明をお願いします。
事務局 (横江)	<ul style="list-style-type: none"> ・議題(3)「モニタリング調査について」資料2を基に説明する。 ○資料2「住民・利用者アンケート調査について」説明 ・今年度もモニタリング調査として、住民や利用者を対象としたアンケート調査を実施する。 ・弥富市内に居住する15歳以上の住民1,000名、きんちゃんバス利用者500名に配布数する予定である。 ・実施時期としては、10月のダイヤ改正後、一ヵ月以上の期間を開け、11月ごろに実施する予定である。 ・内容として、次のページより整理している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「きんちゃんバスに関するアンケート調査、ご協力をお願いします！」と書いてある、裏表1枚が頭紙となっており、裏面に、啓発や利用促進を兼ねて、得な情報などを記載している。 ・また、この紙は対象者の手元に残るように、アンケート票とは別に分けて印刷する。 ・次のページからがアンケートの内容となっている。 ・アンケートは4ページものとし、問1～12までの設問で構成してる。 ・1ページ目では問1で対象者の属性、問2できんちゃんバスの利用状況を把握する。 ・問3から問9まではきんちゃんバスを利用している方を対象とした設問となっている。 ・問3で利用頻度、問4で割引制度の利用状況、次のページに移って、問5では利用目的を把握する。 ・問6では、きんちゃんバスの満足度を把握する設問となっており、不満という方には、その理由を書きいただくものとなっている。 ・問7では、サイクル&バスライド駐輪場の認知度や利用状況、問8では、きんちゃんバスを利用した外出頻度の変化について把握する。 ・この問8の設問においては、先に把握した属性のうちの年齢から、高齢者の外出頻度の変化を特に把握したいと考えている。 ・次のページの問9では、東部ルートを利用している方を対象に、10月のダイヤ改正により、蟹江線との乗り継ぎを改善したことについての評価を把握する。 ・問10はきんちゃんバスを利用していない方を対象とした設問となっており、今後の利用意向や改善要望などを把握する。 ・問11以降はすべての方を対象とした設問となっており、問11では自宅とバス停との距離関係を、次のページの問12では市の費用負担と利便性の関係の意向について把握する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、ご説明いただいたようなアンケート調査を実施されていくということだが、実施が11月頃ということで、まだ少し時間がある。 ・皆様方からご意見をいただいて、いいアンケートを調査票にしていけばと思う。 ・いかがか。アンケート調査に関しまして、ご意見、ご質問等あればお願いする。
福田委員 (民政委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・備考の欄の、3団体に調査を実施と書いてあるが、私のところは、パートのおばさんがバスで通ってきている。商工会の方で、地域の方を使ってみえる方もあると思うので、商工会の方にもお願いして、お客様に対してのご意見と、自分のところのパートの従業員さんの利用状況、通勤にはどういうふうにしたらいいかを調べてもらった方がいいのではないか。通勤に使う人は毎日なので。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・いかがか。事務局お願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつのいいアイデアだと思う。

(伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ、どのような形で、どのような方を対象にするかというのは、今、具体的にイメージは持っていない状況である。 ・いわゆる、従業員の方で利用されている方を対象にするのか、利用していないけれども、こういう形にすれば使っていただける方というのを対象にするのか、ということもあると思う。 ・当初は、商工会にもお願いして、アンケートを行ったことがあるようだが、一度、商工会とも打ち合わせをさせていただいて、アンケート内容としては、新しく別のアンケートという形では難しいと思うので、同じアンケートを会員さんの中で配ることを検討させていただきたいと思うので、よろしく願います。
福田委員 (民政委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・それを利用しているお店だけでもいいのだが、地域の人を採用しているところもあると思う。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に利用されている方というのは、数的には非常に少ない。
福田委員 (民政委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・間隔が長いから、来たら帰る時にバスがないとか、いろいろある。うちの場合は、前、三重交通さんの時は、バス代を半額、店の方で負担していた。そういう人もたぶん減ってくるのではないかと。高齢になると、自分で運転できないので、バスで通いたいという方も出てくる。あるかないかは別として、うちの場合は負担していたので、どうかなと思った。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象等は勉強させていただく。その中で、取り入れるところは、取り入れさせていただくという形でお願いしたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他によろしいか。
古田委員 (愛知県バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・問 7 のサイクル&バスライドの関係だが、この文章を読んでいると、2箇所新たに加えて、6箇所の駐輪場を開放して、これから6箇所となると。6箇所の利用の状況について回答してほしいということであれば、今、既存にある4箇所のところも、きちんと書いて、問いを出すべきではないかと思う。 ・これは、新たに2箇所だけをターゲットにしているのか、6箇所をターゲットにしているのかがわからないので、質問ということでお聞きした。 ・この問いに対して、これをどういうふうに活用していくのか、それも教えてほしい。 ・問 8 のところで、利用の頻度のことだが、問 3 にも利用頻度の話が出ている。問 3 や問 4 の方に、利用頻度の話があるので、問 8 は上に上げた方がいいのではないかと思う。 ・一番最後の問 12 だが、「今、きんちゃんバスを運行するのに多くの費用を市が負担している」ということからの問いになっている。きんちゃんバスをより便利にするためにという書き方のところで、修正案がある。問 12 としては、「きんちゃんバスを維持するには、多くの費用が市から負担している。今後、より便利にしていきたいというふうに考えている

	<p>が、市の負担費用のあり方についてどう思われるか」というような問いの方がいいのかなど、個人的に思うので、その点も併せて教えてほしい。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、お願いします。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・まず第一点目だが、現在運行している4箇所について、サイクル&バスライドの駐輪場の記載がないということである。4箇所すべて書くということも考えてはいたが、非常に文章的に長くなってしまっていて、逆にわかりにくいのではないかとということが、まずひとつある。 ・アンケートと一緒にお配りするわけではないが、時刻表の中には、位置が示されているということもあり、この段階では省略させていただいた。わかりにくいということも確かにあると思うので、文章的なことを考えさせていただきたいと思う。 ・今回、2箇所については、南部、東部も福祉センターを通るわけだが、基本的に北部ルートで新たにできたところという感じが非常に強い。南部ルート、東部ルートに関しては、ある程度、周知ができていているという思いもあり、この辺を割愛させていただいた。書き方については、研究させていただきたいと思う。 ・2点目の、利用の関係だが、問3、4の後につけた方がいいという話があった。ひとつの並びとしてはそういう形だと思う。全体的に、利用の頻度とか利用方法とかいう形で、かためさせていただくが、場所については、少し検討させていただく。 ・費用負担の関係は、ひとつの案という形で出させていただいている。わかりやすい表現に変更は可能なので、その辺も再度検討させていただきたいと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。 ・最後の部分は、具体的な、こんな文章にしたらという話をされてたので、それを踏まえて検討させていただきたいと思う。 ・サイクル&バスライドの設問をどう使っていくのかという質問があったかと思うが。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・現実の話になると、今の4箇所もなかなか利用していただけていないという現状はある。今回の場所の中で、「福祉センター」というのは、弥富のきんちゃんバスにとっては、一番キーになる場所である。そういうことも含め、制度自体の周知も、アンケートを出すことによって、できるのかなということである。 ・今後、この方策を継続していくかどうかということも出てくるし、場所の増加も考えていかないといけないと思う。 ・新しい施策の中で、この制度をどのように捉えていただいているかということも捉えたいと思っている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。 ・周知という意味もある。PRしていく、アンケートを使って、こんなことをやっているのを知っていただいて、利用促進を図っていくという意味があるとすれば、文章で6箇所だとかなんだとか書くよりも、こ

	<p>ういうのをアンケートにつけていくという手もあるかなと思う。別紙参照みたいな感じで、この6箇所で行っているというような、そんなことも考えられるかなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他によろしいか。
青木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・質問1のところ、質問1-2の年齢のところの7番だが、65～74歳のところに、運転免許証を持っているのか、あるいは、車を利用しているかということ、付け加えたらいいかなと思った。こういう人たちが、いつまで車に乗ってるのかなというのが見える。 ・質問8で、「非常に乗る回数が増えた」とか、「やや増えた」とある。「やや減った」、「非常に減った」理由は書くが、「やや増えた」ところの理由はない。増える可能性があるのかどうかわからないが、その理由も見えたらいいかなと思った。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、免許の関係だが、去年のお試し乗車券のところ、そういった設問をさせていただいている。ある程度、数は揃えているということで、今回のアンケートからは、外させていただいたというのが現状である。 ・減った理由だけで、増えた理由がないのはいかがかという話であるが、基本的には、増えたという方は、その分を満足していただいている、昨年より満足されているかなということである。減った場合は、どういった要因で減ったかという分析をしたいということで、マイナス部分の理由だけをお尋ねしたといった形である。
青木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・増えた理由を書くと、どういう理由で増えたかなというのが掴めるのかなと思う。どういう人たちが、今まで乗ってなかったのに、乗るようになった理由が見え、今後の方向性も見えらると思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・こういうアンケートは、マイナス要因に関して、書いてもらうのは結構多いが、最近確かに、いい要因に対して書いてもらおうというような調査のやり方も、いろんなところでやられているので、よいかと思う。書いていただいたことが、そのままいい評価ができるネタになっていくので、変化の理由は何であるかという書き方をするか、良いことも悪いことも両方書けるような、その理由というような感じにしておけば、増えたと答えた人が書いてくれるかもしれない。
小林委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・今、ご意見に出ている部分と関連して、問7と問8をこういうふうに見ていた。 ・問7は、今回新たに、2箇所の駐輪場を開放して、バスを使っていたかどうかという施策をうつということである。問8は、その結果、外に行かれるというか、バスを利用する頻度が増えたかということ、ここで私は聞いているのかなというふうに思っていた。今のご説明を聞いていると、そうでもなさそうである。 ・今回、問7で2箇所新たに駐輪場を増設して、バスをより使いやすいように、そして多くの方々に外へ出いただく機会を提供していくという部分について、どうなったかということを確認しておくのかなという気もするが、その辺の趣旨がわからないということで、もしそうだとすれ

	<p>ば、問 8 の使い方をもう少し工夫する必要があるのかなという感じはする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問 12 の関係だが、上限をどうするかという話もあるが、現状、多くの費用がかかっているという話だとすれば、アンケートをもって、多くの情報を提供していった方がいいという話の中で、実際の費用負担状況等も、情報提供されたらどうなのか。 ・往々にして、無責任な回答として、使わないけど便利にするなら費用がかかってもしょうがないという話が可能だとすれば、それをどこまでどう考慮していくのかという話になり、なかなか難しい問題である。 ・結果的に、税金として、例えば市民一人当たり、このバスの運行に対していくらかかかっているというような基礎的な情報を提供しながら、「さらに便利にしていこうためにはもっと税投入してもいいのか」、「違う負担の仕方があるのか」というように費用負担の問題を聞いていくという方法は、やり方としてはあるのではないか。 ・ひとつひとつの設問に対して、何を求めて、それをどう使っていくために回答いただくのかという話を、少し整理していただいた方がいいのかなと感じる。 ・問 9 で、飛島公共バスとの乗り継ぎが改善され、便利になったという話は、たぶん出てくると思うが、結果として、乗り継いで利用されているかどうか、このアンケートで聞くのかわからないが、追跡実態調査的なものもしていただいた方が、こういう施策に対する効果としての部分が明らかになっていくと思うので、その辺も併せて検討の中に入れていただければいいかなと思う。
<p>事務局 (伊藤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問 7 と問 8 については、リンクしているという意識なく並べてしまったということである。先ほど、バス協会の方からもご指摘があったが、問 8 の位置をどうするかということも、ひとつ課題になるのかなというふう感じた。 ・問 12 の費用の額の関係だが、こちらを方出すべきかどうかというのは、悩ましいところである。かなり多額な金額ということで、委員の方々のご承知かと思うが、年間に 1 億弱の金額を投入しているというようなことは、市民の方に対してかなりインパクトの強い話になる。それを出すのはいかがかということで、今の段階では、あえて出していないのが現状である。それが、是か非かということについては、こちらの方でまたご審議願えればと思っている。 ・乗り継ぎの関係で、実際に使っているかどうかについて、こちらの設問にいかがかという話だが、これについては、OD 調査を行うので、その段階である程度の数字が出てくるのではないかとと思っている。そちらの方で対応させていただきたい。
<p>小林委員 (愛知運輸支局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の費用の話については、書かなくてはいけないという話ではない。 ・アンケートの結果、出てきた部分について、対応できるものとできないものがたぶんあると思う。対応できないものばかり出てきた場合、どう

	<p>するのかとなると、そこは悩ましいと思う。その辺りも踏まえつつアンケートをやっていかないと、何でもかんでも要望として出てくる部分が往々にある。そこをどう整理するかという話の中で、一定の情報というのもの、あってもいいのではないかという話である。対応できる、できないということも踏まえつつ、アンケートを設定していった方がいいのではないか。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ少し時間があるので、考えて…。 ・いつ頃までにアンケート調査票を作成するのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート自体が 10 月の乗車実績を見てという形で考えているので、11 月になる。10 月入る辺りまでは、時間的に猶予がある。ただ、協議会の方にお諮りする日がないので、案を盛ったものを皆様方に郵送させていただいて、このような案でやらせていただくといったことを、了承の通知をいただくかどうか別にして、お知らせするということは、考えられるかと思っている。今日、いろんなご意見をいただいたことも含めて、再度練り直したいと思うので、よろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査は難しく、私も何度か自分自身でもアンケート調査を作ってやっているが、悩ましい。後になって、こうすればよかったなと思うこともある。
古橋委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクル&バスライドの取り組みは、交通対策課としても、非常にいい取り組みというか、ご対応で有り難いと思っている。 ・既存の 4 箇所が使われていないというお話があったが、どういった理由で使われていないのかということも、アンケートの中にあるとよい。例えば雨が降った時に屋根がないとか、車で送ってもらうから駐輪場は必要ないとか、いろんなお考えの方がいらっしゃると思う。今後使用頻度を高めていくために、使われていない、ご不満があるようなことが、もしアンケートによって把握ができれば、より良い形になっていくかと思うので、その点も併せてご検討いただけたらと思う。よろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど申し上げた検討課題のひとつという形で、取り上げさせていただきたいと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに関して、他にご意見、ご質問等よろしいか。 ・先ほど、事務局からお話があったように、今後、事務局で詰めていって、調査票を作っていく。皆様方に郵送等で、こんな形でやるという案を見ていただくという方向で、進めていっていただきたいと思う。

3. 議題

(4) 無料お試し乗車券について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題 (4)「無料お試し乗車券について」事務局より説明をお願いします。
事務局 (伊藤)	<p>○資料 3 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料お試し乗車券の配布について資料 3 を基にご説明する。 ・これまで 2 回にわたり実施し、利用者増の効果が認められた無料お試し

	<p>乗車券の配布について、今年度も実施したいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布対象は昨年度と同様に市内全世帯とし、9月中旬から下旬にかけて配布することを考えている。 ・なお、利用可能期間は10月1日から31日までの1か月間とし、ダイヤ改正直後の実施を考えている。 ・また、お試し無料乗車券は、2枚目についているものがサンプルとなる。 ・啓発を目的とした文言を記載するとともに、無料お試し乗車券の裏面には簡単なアンケートを記載し、回答を無料乗車の利用条件としている。 ・このアンケート結果を集計し、初めて利用した人がどの程度いたのかを把握し、乗車人員の推移と併せて検証することで、無料お試し乗車券の効果を検証することを考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、ご説明いただいたように、3回目になる。恒例になってきた。毎年やっている無料お試し乗車券である。 ・いかがか。ご意見、ご質問等あるか。
古田委員 (愛知県バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・お試し乗車券の1番目の配布の目的のところ、「きんちゃんバスに乗ったことの無い人が一度の利用経験を通じてきんちゃんバスを持続的に利用するきっかけとなることを期待し」と書いてあるのであれば、初めての人をターゲットにする無料乗車券なのかなというふうに最初思ったが、後ろの方を見ると、問2の「無料お試し乗車券を使うのは何回目か」ということで、別に初めての人でなくてもいいわけか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、そうである。
古田委員 (愛知県バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・配布目的が違うのではないか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・この目的のところの書きぶりかと思う。例えば、いつもは奥さんだけは使っていたのだが、こういったものが来て、家族でひとつの話題になり、旦那さんも一度使ってみるというようなことも、可能性としてはあるのではないか。お子さん達が、今、日曜日が運休しているので難しいところはあるが、例えば土曜日にどこか出掛ける時に、お母さんと一緒に乗って行っていただくこともあるのではないか。そういう中で、バスというのはこういうものだと思っていただく。今度、自分達だけで、駅までこれを使って行ったらどうかというようなことも、中にはあるかと思う。 ・目的としては、当然周知するというのは、第一の目的という形で考えさせていただいているが、そこだけでなく、もう少し広い範囲で使っていただくといったことである。 ・もう一点としては、利用していない、今まで使ったことがない方だけに配布するというのは、非常に難しい問題があるので、均一的に配らせていただいているのが現状である。
古田委員 (愛知県バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨的なことはよく分かる。利用促進をするためなので、とても大事な話とは思う。

会)	<ul style="list-style-type: none"> ・今、言われたように、初めての人が使った、乗ったということが大事であれば、一番後ろのアンケートで、「あなたは何回目か」という時に、「あなたは初めてか」というような問いもあったらどうなのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・Q3で「今回の無料お試し乗車券が配布される以前に、きんちゃんバスを利用したことがあるか」というところで、使ってみえたかどうかというのは確認できる。 ・例年このような形の設問をさせていただいているわけだが、前年の7月、8月の2ヶ月間で、無料お試し乗車を行った。10月段階だが、前年の5,600程から6,300という、利用者増の現象が起こっている。単純に、これを行ったためかどうかわからないが、この効果もあったというふうに思っても不整合はないかなと思っている。そういうことも含め、とにかく知っていただく、使っていただくことを主目的として、この事業を行っていきたいと思っている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。
古田委員 (愛知県バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進を図っていただけのなら…。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの聞き方はいろいろあると思うが、たぶんこの調査で初めてという人は、先ほど課長から説明があったように、把握はできるだろうと思う。初めて、1回使ってもらってという話だが、建前上はそういう目的だが、実態はきちんと把握しておこうということで、こんな調査内容になっているということかと思う。
福田委員 (民生委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・私、一度、きんちゃんバスに孫を連れて乗った。生まれも育ちも弥富である。バスでずっと一周してきたら、ずいぶん弥富が変わったなと感動した。 ・私の友達は、弥富市内を案内するのに、いろいろ新しい道が出来て、道がわからないと。だから、友達が来た時に、3人ぐらい連れてバスで一周してきたと。お試し乗車券をいただいたことにより、弥富市はこんなに変わったんだなということで、来客があった時にでも使っている人もある。この券だけでなく、その時はお金を払ってたぶん乗っているので、有意義な行事だと思うので、続けたらいいのではないかと私は思う。 ・市内の市民だけが対象でなく、外部から来た人にも弥富市を知ってもらうために、遊覧バスではないが、一周してくるのも良かったよという評判を聞いたので、賛成である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ実態として、皆さんいろんな使い方をされていて、喜ばしい話かと思う。 ・よろしいか。
小林委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・無料お試し乗車券の後ろにアンケートをするという話だが、このアンケートは、先ほど議論でもあった利用者アンケートの部分と、結構重複する部分があるのではないかという気がする。同じような時期である。お試し券は、全戸配布する。そこで利用されている方々の状況というのは、

	<p>たぶんこのアンケートで大体聞ける。そうすると、改めて11月にやるアンケートの部分の内容で、重複するようなどころとか、もう少し両方整理していきながら、上手いアンケートのやり方をされたらどうか。同じようなことを聞いている感じがして、その辺をもう少し、使い分けされた方が効果的ではないかと感じた。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • いかがか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者アンケートだけでなく、住民・利用者アンケートの関係も、利用された方、利用されない方、両方とるという形になっている。こちらも利用された方ということなので、かぶるところはあるのかなという気はする。 • 例えば、こちらのアンケートだと、75歳以上の方のご意見は伺えないという形がひとつある。時期的な話として、本来ならば、もう少し時期をずらしてアンケートを取ればいいのかと思うが、全体的な計画の見直し等考えると、どうしてもこういう近い時期になってしまった。特にダイヤ改正を絡んだ形になっているので、非常に、今年に関しては近いところの、だぶっている形もあるかと思う。それぞれの、どのような方が使ってみえるか、初めて使ったのかどうか、どのような目的で使っているのかといったことが、やはりこれはこれで価値のあるアンケートかと、私は思っている。改善するべきところは、改善すればいいと思うが、基本的にはこのような形で、本年度は進めさせていただいたら有り難いと思っている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • よろしいか。 • 9月に配ると使われるのはいつ頃か。今までの感じだと、例えば9月に配ると翌月使われるのか。一気にみんな使うのか。 • これ自体が1ヶ月、期限付きである。10月の1ヶ月である。アンケート調査が11月。近いといえば近いけど、完全には重ならないところがある。 • アンケートをやる時期にこれが使われると、アンケートの結果が歪んでしまうと思ったが、1ヶ月完全に11月は使えないのであれば、いいかなと思う。小林さんがおっしゃるのは、無駄があってはいけないということである。だぶっているいろいろ聞いてもということだと思う。
小林委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> • このアンケート自体が10月までの利用状況についての問いであるので、無料券の配布によってその動向も変わってくるという話である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • そうである。無料券は全戸配布しているので、影響はあるかもしれない。
鈴木委員 (女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> • (住民・利用者) アンケートで、「きんちゃんバスを利用している」、「していない」という問いがあるが、「利用していない」と答えた方は、後のアンケートには答えられず、最後の意見等しか答えられないということか。利用している方へという項目ばかりである。「利用していない」と答えてしまったら、それだけなのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> • 結果的には、今言われた形になってしまう。「利用している」、「していない」ところだけにしても、こういう属性の方については利用が少ないとか、多いとかいうところが見えてくるのかなといったことは感じる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・問12の、利用していない方と利用している方というところで、かなり考え方が変わってくるというのが、当然見えてくる話だと思う。そういう比較もできるという中で、ここで分けさせていただいている。 ・あまりアンケートのボリュームが大きいと非常に答えにくいということがある。過去のアンケートで、当初のアンケートはかなりボリュームのあるアンケートを出して、非常に書きづらかったということもあるので、今回についてはシンプルなものになっているということをご理解いただきたいと思う。
鈴木委員 (女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートでの質問は、「どんなことに利用したか」という、無料乗車券と同じような質問ではなく、片方は「利用していない」人に対しての、「どんなことに利用したいのか」という問いがあってもいいのではないか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・過去においては、そのようなアンケートは何回もやらせていただいているのが現状である。その中で、ある程度、結論まではいかないが、傾向は見えているところはある。その中で、なるべくシンプルなアンケートにしたいという思いがあるので、こういう形を出させていただいている。 ・やはり、過去のアンケートの中で、かなり傾向がいろんなところで見えているので、そういうところについては、カットしている部分があるというふうにご理解願えればと思う。
鈴木委員 (女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。 ・無料お試し乗車券を配った翌月、利用期限の翌月に住民アンケートをやるので、設問が増えるが、「これ使いましたか」という問いを入れてはどうか。無料お試し乗車券の評価ができるかなというふう感じた。
古橋委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・A4サイズ(厚紙)に3枚のハガキサイズの無料お試し乗車券と書いてある。1世帯にこの状態で配布すると、3枚が配布される。奇数にすることによって、片道を自費で利用して頂くことが期待できるということであるが、3枚配布してしまうと、帰ってくる分も2枚目で使うことはできるのではないか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚にした場合という形になる。 ・例えば、家族で出掛けられる場合、お二人で行かれた時は、この書き方は違う。往復すると必ず偶数になる。奇数の部分については、実費負担をしていただいて、実際にお金を払って使っていただきたいといったことの中での3枚という考え方である。厳密に言うと、この書き方は適切でないかもしれないが、気持ちとしてはそういう気持ちで作っている。
古橋委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりの方が移動する場合は、2枚を使うことができるということか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ意見が出てきたので、これを踏まえて、再度詰めていっていただきたいと思う。 ・無料お試し券は9月中旬に配布なので、すぐに印刷に入っていないといけない。細かい部分は事務局に一任いただくということによろしいか。 ・それで進めていただきたいと思う。
------	---

3. 議題

(5) サイクル&バスライド駐輪場について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題（5）「サイクル&バスライド駐輪場について」事務局より説明をお願いします。
事務局 (横江)	<p>○資料4説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクル&バスライド駐輪場について資料4を基にご説明する。 ・裏面を見ていただくと位置関係がわかりやすいと思う。 ・現在、東部ルート「十四山総合福祉センター」「十四山支所」、南部ルート「鍋田支所」「南部コミュニティセンター」の4ヶ所で、サイクル&バスライド駐輪場として、施設の駐輪場をきんちゃんバス利用者にも開放している。 ・今回、新たに赤枠で囲っている2箇所、全ルートがアクセスする「総合福祉センター」と、北部ルート「白鳥コミュニティセンター」の駐輪場もサイクル&バスライド駐輪場として開放し、利便性の向上を図りたいと考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほども、いろいろこれに関しては、ご意見出ていたが、他にご意見、質問等よろしいか。 ・せっかくおもしろいことをやっちらっしゃるので、しかも特別にお金をかけて何かを整備するわけではなくて、既存の施設を活用していこうということなので、上手に使ってくだされば、使ってくれる人がたくさん出てくれる、非常にいい施策だと思う。ぜひ、上手くピーアールをしていっていただきたいと思う。 ・よろしいか。

3. 議題

(6) その他

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題（6）その他について、事務局から何かあるか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・特にない。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進に関するようなことが、今日いろいろ出てきたが、国の方でも利用促進に関して、補助していただけるメニューが新たに出来たということなので、ぜひそれを活用する形で、事務局の方で頑張って進めていただきたいと思う。 ・それに関してご意見はあるか。
加藤委員 (福寿会)	<ul style="list-style-type: none"> ・この協議については、当然組織なので、こういったことをより向上させるために、いい方向を生み出すわけだが、もう一点、形態と外れるかも

	<p>しれないので、その他のところで申し上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの9番だが、飛島さんとか木曾岬さんの話を書いてある。それぞれの地区でこういったことを取り組んでいっしょにし、そういったものを双方が利用しあうことで、高めていこうということだと思う。 ・将来、例えば、弥富を見ると、海南病院があるし、イオンだとか大きな店がある。木曾岬と飛島ということの中で、それぞれ今、行政でこういったことを捉えていっしょにする。先々のことだが、やはりこういったことをもっと広域圏で運営して、それぞれ市民の皆さん方が利用される施設というものは、すべては共有した形でこういったものを運行していこうと思うと、お互いが利用しあうことも、ひとつ近づく利点だが、将来に向けては、やはり広域でこういったことを運営された方がよいのではないか。非常に膨大なお金がかかる、事実、かかっていると思う。広域になればなるほど、それぞれの、例えば南の企業だとか、買い物だとか病院だとかというようなことを考えてみると、もっと広域にした方が、バスの利用効果が高められる運行ができるのではないかなという気がする。今は今で、こういった今をいかに高めていくかということが大事なことである。将来に向けては、やはり行政間でいろいろお話いただいて、そういったことに対しての内容が一步でも進めば、行政間の問題なので、そういった中で進めば、会の中でいろいろ検討していく。そういったことが、将来に向けての夢みたいなことかもしれないが、事業効果が上がるのではないかということでご提案申し上げる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、おっしゃられたことは大事なことで、夢ではなくて、実は現実にそういったことが行われている。実は、国や県の方も、そういった広域で、自治体で、今、弥富市でこの公共交通会議を作っているが、それをそうではなくてはいけないのではなくて、複数の自治体が一緒になって協議会を作ることを、むしろ推奨しているようなところがある。広域で連携してやっていこうということである。例えば、北設楽、山の方だが、複数の町村が一緒になって、バスの協議会を作って運行しているケースもある。いろいろ政治上の問題や難しいところはあるかと思う。 ・何か、事務局から今のことに関してあるか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・そこまで行くのは遠い感じがしてしまうが、現実的に弥富市としても、今回でも、飛島村さん、木曾岬町さんにおいでいただいて、こちらの方も飛島の協議会には参加させていただいているといった現状がある。 ・前回もお尋ねされた乗り継ぎの関係で、各市町をまたいで接続することはできないかというようなことも検討させていただいている。 ・組織的にひとつにするところまでは、なかなか難しいかと思うが、その前段のものというのは、今順番に、今回の乗り継ぎのこともそうだが、進めようとしているというのが現状である。今言われた、最終形に向かってどのような形で進めるかというのは、今後の研究課題かなと思う。その辺のところでご理解願いたい。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・加藤さんから非常にいい意見をいただいた。海部・津島4市2町1村、全

	<p>部で7つの自治体がある。いずれにしても、それぞれの自治体がコミュニティバス、地域公共交通については大変なご苦勞をいただいているということも、現実的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な一部事業という形の中で、広域の状況の中での事業をたくさんやっているわけである。こういったことが、地域公共交通が4市2町1村に拡大をしていくことについては、一方では考えていかなければならないことだろうと思っている。大変いい意見だと思っている。一度そういうようなことを私共としても固めていかななくてはならないわけだが、提案する場があるかなと思っているので、今回は、この程度で留めさせていただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ よろしいか。 ・ 議題はこれですべてである。 ・ 事務局から連絡事項はあるか。
事務局 (横江)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の第3回協議会は、1月頃を予定している。日程が決まり次第、皆様にご案内させていただくので、よろしく願います。

4. 閉会

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上で、第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。 ・ 今後ともご協力をお願いします。
	以上